

# 久米 寿号

第122号  
H26. 1. 1  
久米地区  
寿会連合会  
文化部

会員の皆様

お健やかに新年をお迎えの事とお慶びを申し上げます  
皆々様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます  
本年もよろしくお願い申し上げます



文化部

## 久米地区寿会連合会の活動状況

- 十月一日 「久米寿号第一二二号」発行
- 十月八日 「周南市ハートフル人権セミナー」に二名参加（於て久米公民館）
- 十月十日 「人権を考える集い」に有志参加（於て久米小学校）
- 十月二十八日 周南市老連女性委員会研修会に二名参加（於て徳山社会福祉センター）
- 十月二十九日 輝きクラブ周南徳山支部理事会
- 十一月三日 久米地区総ふれあい大運動会に協力参加
- 十一月五日 周南市高齢者ふれあいスポーツ徳山地区大会に五十七名参加（於て周南市陸上競技場）
- 十一月七日 輝きクラブ周南徳山支部理事会
- 十一月十九日 お年寄りと児童のふれあいグラウンドゴルフ大会（久米小学校）
- 十一月二十六日 周南市老連第九回高齢者振興大会に有志参加（於て周南市市民館）
- 十二月九日 「久米寿号」編集会議
- 十二月十九日から一月三日まで 『平成二十五年年末年始の交通安全全県民運動』に参加
- 十二月十七日 久米小五年生に『しめ縄作り』を久米コミュニティ推進協議会の皆さんと共に指導（於て久米小学校）

## ☆会員の訃報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

- 藤井克子さん（中寿会）  
平成二十五年十一月七日死去 享年七十四歳
- 柳道子さん（中寿会）  
平成二十五年十一月二十五日死去 享年八十七歳
- 寺本六夫さん（中寿会）  
平成二十五年十二月十二日死去 享年八十三歳

## 自転車に乗って

上南寿会 柏幾子

ここ、旭ヶ丘から久米公民館やスーパーマーケットに自転車で行く。二キロくらいの道のりだけれど、途中ひどいでこぼこの農道がある。十三年も走っているが年々道も傷んできた。けれど一向に舗装し直す気配もない。特売の玉子を買った時、あまりの道の悪さに一ヶか二ヶは必ずといっていい程玉子にヒビが入っている。まあ仕方ないか！

こんな道でも周りの竹まゐ（たたずまゐ）は快い。道端には、春は青い小さな小さなイヌフグりが咲き春の到来を告げる。その後、白や黄色のタンポポが咲き始め癒される。夏はアキアカネ、シオカラトンボ、ムギワラトンボが前を横切る。

秋は黄金色の稲穂の中の畦道に真赤な彼岸花があらこちらに咲いている。好きな風景だ。西側の休耕田の草むらから色々な虫の音が聞こえる。こんな時はゆっくりと走る。

秋から冬・春にかけて、農道の手前に大きな溜池（文化堤）があり、そこに寒い国から水鳥が飛んで来ている。多い時は百羽くらいいる。自転車を止めてしばらく眺める。道のすぐ近くにカイツブリが七羽いて人影を見ると水面から潜ってしまつて姿を消してしまふ。又、ピョコットと水面から顔を出す。その格好がとてかわい。

トシだからと家族は自転車に乗るのを心配するが、この四季の風情を感じさせてくれる道を、当分の間走りたい。

## 女郎蜘蛛（じよろうくも）

中寿会 井上好夫

朝起きると新聞を手にして一面をかるく見ながら散歩するのが私の一日のはじまりである。今頃は家の周りを、みかん・マンゴー・パイヤ・蒟蒻などの生長ぶりを見ながら歩くのが楽しい。

坂本地区に住むようになったのは昭和四十五年頃で当時は農業も盛んなときであった。今頃とは異なるものがかわつてきた。特に近年では近代的な住宅街の様相までしてきた。反面野生の生物が少なくなったのは淋しい。散歩のうちに、いつも興味ふかく見ている女郎蜘蛛の姿がいつのまにか何処にもいない。

大型の蜘蛛で黄緑青白など多彩で、くつきりとした縞模様がある。堂々とした勇姿は蜘蛛の王様と言いたいくらい。大型の茶色蜘蛛は家の中でよく見かける。以前ゴキブリをとっていたのを見た。当家では益虫として決して殺したりはしない。私の仕事場には面白いハエ取り蜘蛛がいる。黒く小さいがポンポンと飛んでハエなど取る。

獲物の取り方にもいろいろある。バツタが蜘蛛の糸にかかった瞬間を見た。飛びつくなり糸を出しながらくるくる回転させて白い塊にした。その様は昔父が米俵を足で転がしながら縄で縛る様子を連想して、一瞬の出来事が面白かった。

蜘蛛の脚は八本昆虫の脚は六本だから生物とは実に不思議である。前の二本は手の役をするのだろうかなど考えるとさらに興味が増す。女郎蜘蛛の狩は糸を巻いたりせず一気に襲いかけるのではと思う。ぜひ見たいあの縞模様の姿。見つけたらご連絡下さい。



# 川柳・短歌

脳味噌へノックして見る物忘れ  
初菑初空仰ぎはや傘寿

清花

年もふえ痛い所もふえてくる  
くめ・ひばり  
孫と曾孫可愛さどっちと孫が聞く

寒風を分けつつ子らは黙々と  
上南寿会 石田敬枝  
しあわせは身近にありと思うなり  
下校路をゆく身を傾けて  
孫とウォーク夫の笑顔に



## 自然の恵みの思い山

中寿会 野村克行

私が子供の頃は、戦前・戦中・戦後であり、暮らしたには厳しい世相であった。  
父が戦死し母の実家に引越したが、実家は百姓でありながら田畑で取れる食べ物には充分なものではなくて、腹が減るので山や海に行き自然なもの（木の实や魚介類）を自分の手で取って食べたり、家に持ち帰ったりしていた。

自分で取ったものを食べたり家族の夕餉の足しにできた時の気分は、充実感の満ちたものであった。  
先日試みに海や山で取って食べたその種類を数えてみたところ、百種類を超えるほどのものであった。その結果それは定年退職後に畑を借りて自分で育てて食べたもの約五十種類の二倍以上に相当するほどのものであったことが分かった。  
そんな訳で、子供の頃海山を駆け巡って取って食べたものが如何に多かったかを改めて知った。  
そしてその充実感、決して店でお金を出して買えるものではないものであり、貴重な体験をしていたことを改めて認識することができた。

話しは飛躍するが、  
話しても自分に、死が真近に迫り来世の使者が迎えに来たとしたら、そのときには使者を待たして自分の人生を振り返り、まずは家族を含めていろいろとお世話になった方々に対して感謝の意を表すことは勿論、更に自分の場合は自然の恵みを大きく受けたことに対して、感謝の意を表したい。そして大きな充実感を抱きながら旅立って行きたい。  
喜寿を迎えて余生の少なくなった最近、時々そんなふうに思う。  
認知症に罹らないことを願いながら。

## 「△7度」といふ事

北寿会 草下ツヤ子



大概の人は別れるとき「又今度ネ」と言います。でも明日の事は、分かりません。私もついそう言う年になりました。それで私は、「今度」という言葉を使わないで、「出来たらネ」と言うようにして行くこと思い初めました。何処かの先生が「今でしょー」という言葉を使って、それで有名になって、平成二十四年の流行語大賞を受けられました。私は、なるほどと思いい、大好きな言葉となりました。  
今出来る事をして、日々楽しく、明るく、元気で過ごして行く事が、最高の幸せですよネ。  
皆様も、今年も本当に良い年でありますように。

# 銀座ブラ

上南寿会 齊藤恒郎

銀座の柳と歌われ指折りのデート・コースである。正装して歩く街だとしていた人も多かったから銀座という言葉が輝いていた。その柳が切られビルの谷間になって趣も変わって来たようだ。歩行者天国の中で行き交う人々を眺めて思った。

徳山銀座も小規模ながら賑やかだった。それなりの銀ブラも楽しんだ。だが買い物スタイルが変わり郊外大型店に客足が向き商店街は衰退した。車での客は他の店に回るにも車だから、いくら店が並んでも、買物客は歩き回らない。人が歩き回らなければ、それは商店街とは言えない。人の息遣いが感じられない街は、さらびやかに装っていても、どこか温もりが乏しい。日本中の街が同じような様相をしていると言われるのも、街がこうした無表情になってしまったからではないだろうか。折角の買物も、帰りには、何だか気分が索漠としてしまう。

小規模でもいい、人が出会い、人が語る街角があり、人が歩き憩える商店街があったらいいな。

## 行事短信

### ①久米小五年生の「しめ縄作り」



地域の伝統文化である「しめ縄作り」を、久米小五年生に体験させる集いを、十二月十七日、久米小学校体育館で開催しました。寿会と久米コミュニティ推進協議会の皆さんで、合計十九名が指導者となって児童を八グループに分け、簡単な「輪飾り」を手にとって教えました。児童達は苦闘しながらも、皆んな上手に作っていました。稲ワラは、久米小五年生の皆さんが稲作体験学習で作ったものを使用しました。

### ②お年寄りと児童のふれあい

#### グラウンドゴルフ大会



久米地区社会福祉協議会と共催で、平成五年からの恒例の行事「お年寄りと児童のふれあいグラウンドゴルフ大会」が、十一月十九日午後、久米小学校運動場にて、開催されました。今年度は、学校の希望で、初めて三年生と競技しました。児童五十八人と寿会会員二十三名、育友会九名それに社協関係者や地域の方も加わって、十二チームに分かれて二セット合計の団体戦で競い、なごやかに楽しくプレーしました。学校の校舎工事のため運動場が狭くなったので、コースを短く設定しましたが、児童たちは、体に比べてやや長いスティックを上手に使って、ホールインワンを四人が打ちました。

### ③市高齢者ふれあいスポーツ

#### 徳山地区大会に参加



十一月五日周南市陸上競技場で、「第十一回周南市高齢者ふれあいスポーツ徳山地区大会」が開催され、久米地区の各寿会から合計五十七名の皆さんが競技や応援などで参加しました。  
今年度は、全参加選手を代表して田中院内寿会の藤井勇さんが、選手宣誓をしました。久米地区の皆さんは、競技全十種目のうち国旗入場、スプリンレース、ゆっくり走るう安全運転、玉入れなどの四つの競技種目とフォークダンスに参加しました。  
競技は、旧徳山地区内を六グループに分けて競い、その結果、久米地区の所属する「東部地区」は準優勝しました。